

議会運営委員会

臼井由紀子委員長コメント

前年度からの継続案件である議員定数については、委員会構成や次期選挙までの周知期間、議論時間の不足などから意見が分かれ、議会改革とは切り離して議論すべきとの意見もあり、今期委員会では取り扱わないこととしましたが、来期の議会で引き続き議論していく必要性は共有されています。

また、議会改革に関する会議体は実効性と継続性のある組織となるよう整備を進め、市民に開かれた機能的で信頼される議会を目指し、さらなる改革に努めてまいります。



▲委員会の様子



▲議会運営委員会

総務文教委員会

渡辺佳正委員長コメント

中学校の水泳授業は将来的に水難事故防止教育など座学中心としていくこと、市民プールのスライダーは錆、塗装の劣化などで今夏は利用中止、流水・屋内プールのための営業とする市教育委員会の方針が示されました。委員からは「座学だけでこどもの水泳力が育つのか疑問」、「市民プールのスライダーは人気があるので、復活してほしい」などの意見が出されました。

現地視察では、埋蔵文化財の移転先候補となっている市立病院所有の旧東京電力建物の内部状況を確認しました。



▲市民プールのスライダー

環境厚生委員会

佐野寿夫委員長コメント

令和8年6月22日、所管事務調査を行いました。

清掃センターでは、安定的なごみ焼却と施設延命化に向けて令和6～9年度で進められている焼却施設保全工事 ▲清掃センター視察の進捗や、設備更新の状況について現地調査を行いました。



▲清掃センター視察



▲新型霊柩車

また富士宮聖苑では、耐用年数を70年に延ばす目的で令和4～7年度に行われた長寿命化工事の成果や、令和7年度に更新された新型霊柩車の導入状況を確認し、待合棟や火葬棟を現地調査しました。

産業都市委員会

小松快造委員長コメント

産業都市委員会では地域防災力の向上に向けた取組についてを政策課題として、これまで、調査研究を進めてまいりました。その結果、政策提言を行う方向で進めていくこととなりました。なお、時期につきましては、令和9年2月定例会での提言を目指して、委員会での協議を進めております。

今後の所管事務調査については、防災先進地区の実践戦略を学び、災害に強い富士宮市を造るため、当市の防災力の向上に取り入れていきたいと考えています。



▲危機管理局より「富士宮市総合防災マップ」について説明

